

本研究所が役割と使命を果たし、さらなる充実・発展を遂げるためには、優秀な研究ならびに研究者の支援事業、若手教職員の能力開発支援事業、および若手研究者を中心とした国際交流活動の支援事業などを実施するための資金確保が何よりも重要であると考え、岡山大学学都基金の特定事業として「異分野基礎科学研究所次世代革新科学技術展開支援事業」を設立しました。

本事業を通して集めた募金は、異分野基礎科学研究所における研究活動支援のために活用します。

事業の目的

異分野基礎科学研究所における研究活動、国際交流、教育・研究支援活動の推進に資することを目的として設置します。

活動の期間

平成30年度から募金を開始し、5年間の事業活動を行います。

事業の内容

研究活動支援事業／優秀な研究・研究者への支援、若手教職員の能力開発支援 など

管理運営方法

岡山大学異分野基礎科学研究所次世代革新科学技術展開支援事業管理運営委員会で事業計画などを審議し、その決定に従って支出されます。事業の運営状況については、ホームページ上で公開いたします。

募金対象

個人、法人、団体

寄付の方法※

事故防止のため、お振り込みは金融機関、もしくはWEBからお願いいたします。WEBからのご寄付については岡山大学学都基金のホームページをご覧ください。
[<https://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/internet-kifu.html>]



税制上の措置※

法人からのご寄付：法人税法により、全額損金算入が認められています。
個人からのご寄付：所得税の軽減、個人住民税の軽減がございます。

ご厚意への感謝※

寄付いただいた方のご芳名をHPに掲載させていただきます。
※公表を希望されない方については、掲載いたしておりません。
また、一定額以上ご寄付いただいた方は、お名前を銘板に刻み、末永く顕彰させていただきます。

発起人会

異分野基礎科学研究所次世代革新科学技術展開支援事業
発起人会会長 田中 秀樹 (異分野基礎科学研究所 教授)

※寄付の方法、税制上の措置、ご厚意への感謝等詳細につきましては「岡山大学学都基金パンフレット」をご覧ください。「岡山大学学都基金パンフレット」には振込用紙もございます。

学都基金への
募金について
お問い合わせ

岡山大学学都基金事務局 (総務・企画部総務課)
〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号
Tel. 086-251-7009 <電話受付：9:00 - 17:00 (土・日・祝日除く)>
E-mail kikin@adm.okayama-u.ac.jp <http://www.okayama-u.ac.jp/user/kouhou/kikin/>

パンフレットの請求先
・事業内容について
お問い合わせ

岡山大学異分野基礎科学研究所 (岡山大学理学部事務室総務担当)
〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1番1号
Tel. 086-251-7762
E-mail iee7764@adm.okayama-u.ac.jp <http://www.riis.okayama-u.ac.jp/>

岡山大学学都基金 異分野基礎科学研究所 次世代革新科学技術展開支援事業



OKAYAMA
UNIVERSITY

世界への扉を開く



地域・社会とともに、
基礎科学研究の
発展に貢献する



産業への貢献と人材育成

Mission

異分野基礎科学研究所の役割

新たな研究分野の創出
グローバルに研究を展開
世界で活躍する人材を育成

Role

異分野基礎科学研究所は、数学、物理学、化学、生物科学に関する基礎理学研究所を展開するとともに、それらの研究分野を横断する新たな融合的な研究の推進を目指して設置されました。

本研究所では、各研究分野の発展に加えて、現在の学問分野の枠に収まらない新たな研究分野を創出することを念頭にしております。また、国際的な研究ネットワークの中で、基礎理学研究展開を図るべく国際共同研究を活発に展開しています。すでに、世界的に活躍する外国人研究者の主宰する研究グループを発足させるなど、基礎理学分野での国際的な研究活動の中心となるための準備を着々と進めています。この目的のために、積極的な外国人教員の受け入れを行うとともに、若手研究者の海外派遣を後押ししています。

2018年4月には、本研究所を基礎として大学院自然科学研究科博士後期課程に「学際基礎科学専攻」が設置されました。当該専攻では、異分野基礎科学研究所の教員の指導により世界で活躍する若手研究者・技術者を育成することを目指しております。

このように、本研究所は、発足したばかりではありますが、基礎理学研究の拠点となるべく歩み出しており、岡山大学を世界の研究大学へと飛躍させる原動力となるよう活動しております。



2017年4月には、光合成・構造生物学研究コアの沈建仁教授が「みどりの学術賞」（内閣府、日本科学未来館主催）を受賞しました。この賞は、「自然ならびに生物科学分野」において顕著な功績のあった研究者に授与されるもので、沈教授の光合成に関する世界的な研究業績が認められたものです。



超伝導材料としての応用的側面からも関心の集まるMgB₂の発見において、国際的に著名な超伝導研究者であり、「朝日賞」「仁科記念賞」等、数多くの賞を受賞された秋光純教授を特任教授として迎えています。

21世紀になって、基礎科学を応用分野に発展させるための（導入）期間が加速度的に短くなっている中、我が国がこれから先も高度な先進工業国として生き残るためには、世界をリードする卓越した研究成果を生み出すことのできる研究機関の設置が望まれています。そんな中において異分野基礎科学研究所は、基礎科学の発展に大きな貢献をすることによって社会の期待に応えるとともに、その成果を産業応用へと展開させる道筋を開くことによって我が国の産業へ大きく寄与することを目指し、2016年4月、岡山大学に設置されました。

また、国際的視点を有する若手研究者を輩出することを通じて、アカデミック分野にとどまらず、産業界の研究・技術開発の中核を担う研究者・技術者を育成することも目指しています。

量子宇宙研究コア

- ニュートリノ質量分光研究分野
- 先端光量子科学研究分野
- 数理基礎科学研究分野
- コヒーレント量子ビーム研究分野

原子物理、量子光学、数理科学、ビーム物理の手法を実験的、理論的に発展させ、宇宙素粒子物理学に融合することにより、新たな基礎科学を創出することを目的としています。

光合成・構造生物学研究コア

- 構造解析研究分野
- 機能解析研究分野
- 人工光合成研究分野
- 進化・構造生物学研究分野

酸素発生型光合成反応に関与するタンパク質の構造や、機能と光合成反応をモデルにした人工光合成システムの研究を行っています。

超伝導・機能材料研究コア

- 高温超伝導材料研究分野
- 超伝導物性評価研究分野
- 軽元素超伝導・エレクトロニクス研究分野
- 新機能材料合成研究分野
- エネルギー貯蔵物質研究分野

超伝導材料、新機能材料、エネルギー貯蔵物質、多様な環境下における液体などの凝縮系の物性を実験および理論的アプローチにより解明し、未知の興味深い現象を探索しています。